

第4回勤労生活に関する調査（2004年）

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

ま え が き

労働政策研究・研修機構では、勤労生活の実態を把握し、勤労意識の多様な諸側面について明らかにすることを目的として、2004年の8月から9月にかけて「第4回勤労生活に関する調査」を実施し、このほど調査結果を取りまとめた。この調査は、1999年、2000年、2001年と過去に3回実施しており、今回の調査が4回目となる継続調査である。

調査は、定例の基本項目と、各回ごとのスペシャルトピックスにより構成されている。基本項目については、同一の質問項目を同一の調査法により継続して調査しているので、正確な時系列データを得られることが特徴である。また、今回の調査では、厚生労働省職業安定局雇用政策課からの要請も踏まえて、「多様化する働き方」をスペシャルトピックスとした。

本報告書は、この調査結果をとりまとめたものである。関係各方面で広く活用していただければ幸いである。

調査にご協力いただいた皆様には、この場を借りて御礼申し上げたい。

2005年5月

独立行政法人労働政策研究・研修機構
理事長 小 野 旭

目

次

第1章 調査の概要	3
第2章 調査結果	7
1 日本人の仕事観	7
2 多様化する働き方	12
3 仕事満足度	14
4 失業不安	15
5 中意識	16
6 生活満足度	17
7 世の中についての不公平感	18
8 日本型雇用慣行の支持	19
附属統計表 1	20
附属統計表 2	24
附属統計表 3	26
資料	
調査票	43
クロス集計表	59

